

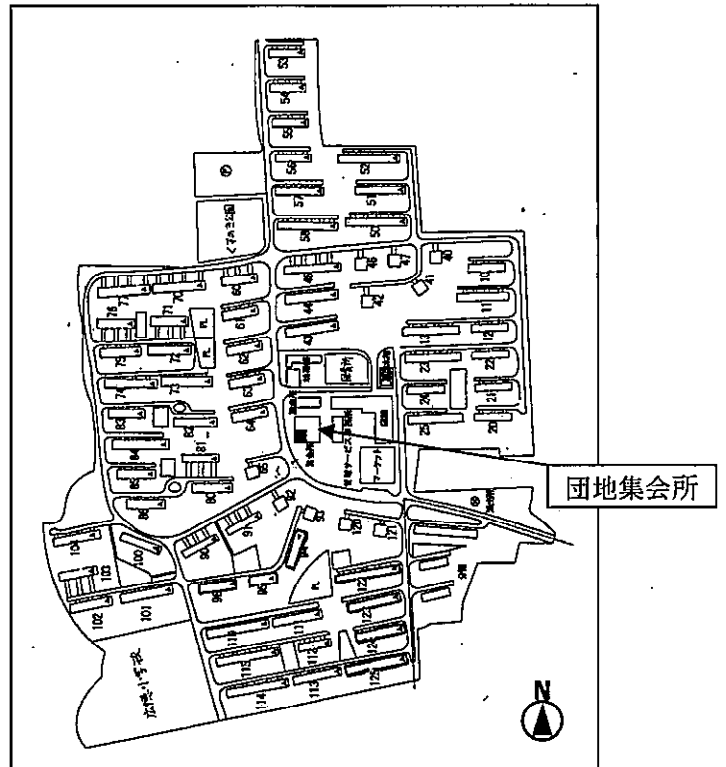
地域コミュニティのあり方について

自治会の取組みの研究：徳力団地自治会の事例

1 徳力団地について

(1) 概要

- ① 設置者：独立行政法人 都市再生機構（以下：UR 都市機構）
- ② 所在地：北九州市小倉南区徳力団地 1 番～1 3 3 番



- ③ 団地敷地面積：約 17.2 ヘクタール
- ④ 学校区：広徳小学校区、広徳中学校区
- ⑤ 開発時期：昭和 41 年から 45 年にかけて開発
- ⑥ 団地棟数：75 棟
- ⑦ 団地戸数：2,325 戸（賃貸：1LDK～3DK）
- ⑧ 人口等：4,054 人 2,239 世帯 高齢化率 35.8%（平成 27 年国勢調査）
- ⑨ 主な団地内施設：診療所、幼稚園、保育園、高齢者デイサービス、スーパー、店舗、
歯科、交番等

(2) 団地の特徴

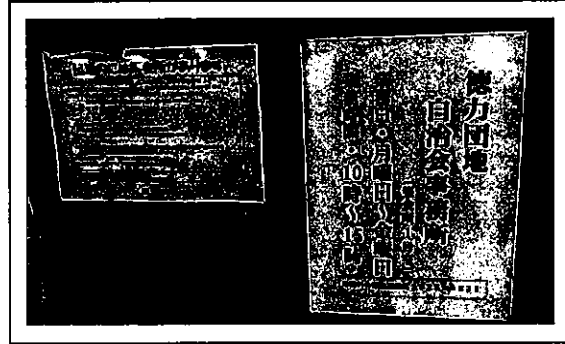
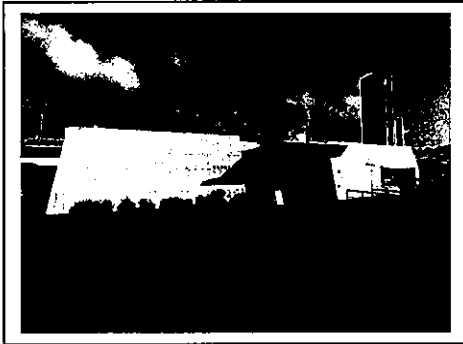
UR 都市機構の「地域医療福祉拠点」の形成に取り組む団地として、UR 都市機構、自治会、大学、行政等との連携による「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち」を目指している。

また、空き家になった 1 階及び 2 階をバリアフリー化して、高齢者優良賃貸住宅（297 戸）を設置している。

2 徳力団地自治会（以下：自治会）について

(1) 概要

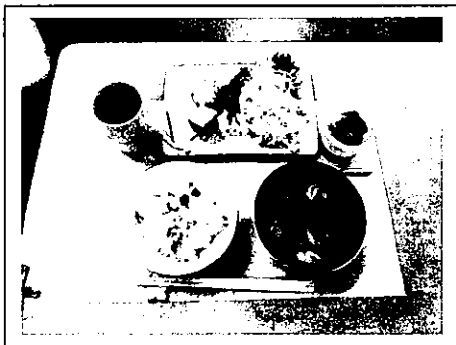
- ① 発足：昭和42年から
- ② 加入世帯数：1,050世帯（加入率5割弱）
（参考：広徳校区の自治会加入世帯数1,350世帯）
- ③ 自治会のスローガン：「もっと身近で役立つ自治会に」
- ④ 自治会事務所：団地集会所の一室
（月～金曜日の10時～15時まで事務員在所 昼休み12時～13時）



- ⑤ 自治会費：毎月300円
- ⑥ 自治会組織：会長1名、副会長2名、事務局長、財務局長、会計監査2名、書記2名、事務局補助、棟委員67名

(2) 主な活動内容（高齢者の見守り等）

- ① 家賃特別措置、高齢者優良賃貸住宅の更新手続きの支援
自治会がとりまとめて区役所へ必要書類の申請を行う
- ② 食事会の開催（月1回）



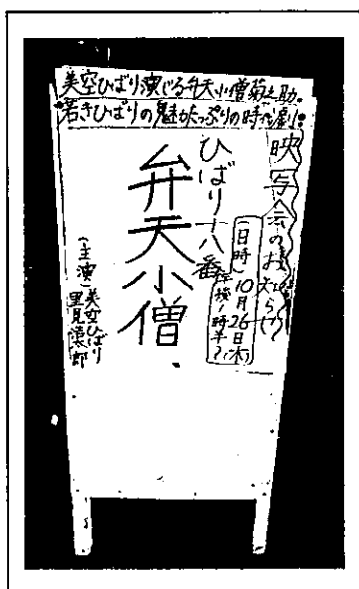
「献立の一例」

「そうめん流し」



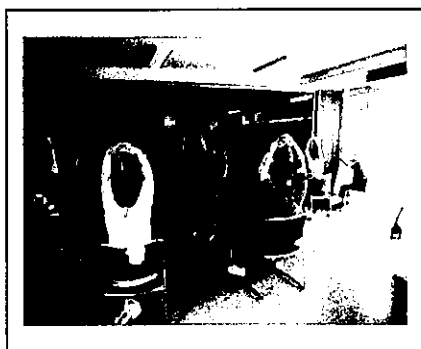
独居の高齢者10人位に5人のボランティアが1回200円で食事を提供して開催

③ 映写会の実施（第2木曜と第4木曜日午後の毎月2回）



この回は20名程の鑑賞者

④ きたきゅう体操の実施（毎週月曜日）



毎週40～50名程が参加する行事となっている

⑤ 広報の実施

「ふれあいネットワークだより」の発行（75歳以上の方向けに毎月発行）《別紙1》

「自治会だより（毎月）」《別紙2》

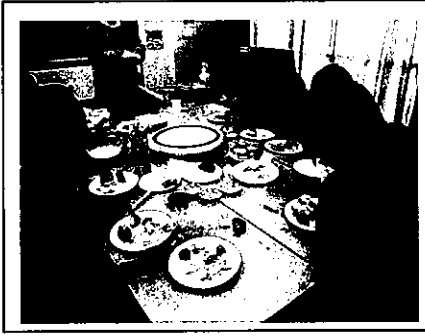
「とくりき（年3回程度）」の発行《別紙3》

⑥ ふれあいバザーの開催（毎月第1火曜日開催）



住民からの提供物品で各回1～2万円程度の売り上げ（2時間程の開催）。

⑦ アンビシャス広場（毎週月・水）



お菓子づくり



七夕飾り

子どもの見守り、誕生・小中入学・成人のお祝いなどを行っている。

⑧ 来訪者訪問用駐車場貸出しサービス（5台分）

⑨ 相談業務

日常懸案、UR都市機構、行政（区役所・地域包括支援センター）との調整

⑩ 資源（廃品）回収（毎週土曜日）

⑪ 年末にカレンダー配布（商店街の協力により）

⑫ 会議の開催

総会（年1回 年度の活動報告、予算・決算等）

運営委員会（毎月開催 毎月の行事計画等）

評議員会（毎月開催 清掃、修繕、懇親会等）

（3）主な行事等

① 夏祭りの開催（2日間）



パンフレットの発行、舞台設置、幼稚園・保育園・小中学校の出演
企業広告を募集、経費100万円程度

② 敬老会の開催（9月）

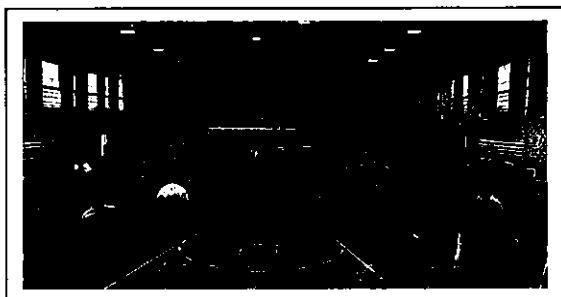


主催：校区まちづくり協議会
広徳校区合同で実施

100人以上の参加有

自治会は70歳以上の加入者（H29年度718名）に敬老のお祝いを贈っている。

③ 運動会の開催（10月頃）



主催：校区まちづくり協議会
広徳校区合同で実施



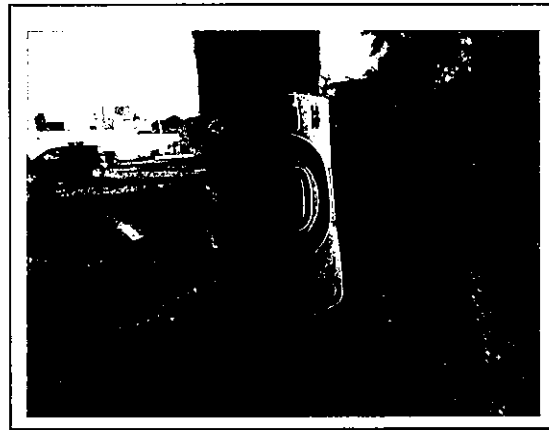
年長者も参加できるゲーム的な内容で開催

④ その他行事

防災訓練、ごみパトロール、通学路クリーン作戦、団地内30km制限運動等



防災訓練



30km制限標識

⑤ その他イベント

餅つき、豆まき、クリスマス会、バスハイク、野球観戦、博多座観劇等



クリスマス会

3 徳力団地の主な取組み（自治会以外）

（1）UR都市機構

① 管理サービス事務所の設置

職員2名配置 開所時間9：30～17：00（毎週水・日と祝日休み）

入退居等の相談業務

自治会役員と定期的に意見交換を実施

イベントの企画・運営等の助言・協力

② 生活支援アドバイザーの配置

高齢者の見守りのため職員1名配置

あんしんコールの実施（登録者に週1回電話で安否確認）

③ 徳力団地高齢者問題等に関する連絡会議の開催

構成：UR都市機構、自治会、民生委員、団地診療所、社会福祉法人、小倉南区役所、小倉南区社協等

（2）北九州市立大学地域創生学群

① 大学生による戸別訪問活動（週1回、大学生が独居高齢者等宅を訪問して安否確認）

② サロン活動：おしゃべりカフェ「みんなの広場」への参画

③ その他の活動：

ATB（あそぼう、たべよう、べんきょうしよう）



夏季休暇中に小・中学生を対象に実施

クリスマス会、バザー、夏祭り、映写会への参画

UR都市機構と連携して「大学生の団地居住」を実施（地域活動の実践）

（3）その他

おしゃべりカフェ「みんなの広場」の開催（毎週金曜日13～16時）

主催：エフコープテーマクラブ

北九州市立大学地域創生学群、徳力団地自治会、エフコープ生活協同組合、UR都市機構九州支社

4 自治会役員の考える活動の課題

自治会活動の課題として、自治会役員へのヒアリングでは、

- 役員の後継人材の不足
- 自治会加入率の低下
- 活動に関する財政的な厳しさ

など、他の自治会と同様の課題があげられている。

5 徳力団地における自治会活動のまとめ

徳力団地においては、団地居住者の高齢化の進展を背景に、数多くの自治会活動が行われている。その特徴として、

- 他の地域では、まちづくり協議会等が実施しているような活動についても、多岐にわたり自治会が自らの発意で行っていること
- 団地自治会役員の熱意と活動を核としていること
- 住民の顔が見える関係の中から、それぞれの暮らしに役立つ活動を一つ一つ積み重ねてきたこと
- 高齢者の見守り等の活動は、人数を絞って重層的に行われていること
- 活動に対するUR都市機構の支援があること
- 関係機関との連携があることなどがある。

これらの取組みは、地域コミュニティの「共助」を考える参考となるもの。